

令和2年度市民提案型ごみ減量活動等補助金 交付決定実績一覧

1. 先進的ごみ減量等モデル事業

番号	申請事業名	申請者名等	事業概要	事業実績（成果・達成度）	(円)	(円)	(円)
					補助申請額	交付決定額	確定額
1	もってけドロボー蚤の市	kichi_lab_art 代表 加藤 史江	「もってけドロボー蚤の市」と題し、不要な古くても良い物を募集し、SNSでの情報発信や会場での展示により必要な方へつなげる。残ってしまった物はリサイクルアートに変身させる。	事業開始2年目で認知度も上がり、利用者は増加している。古い家具等もリサイクルできた。開催日数69日間で合計1,380の方が訪れた。リサイクルアートでは、農家さんから出た発泡スチロールを使って、子どもたちと一緒に舟の作品を制作した。	300,000	317,600 ----- 必要額	317,600
2	生ごみ堆肥化	6丁目生ごみ堆肥の会 代表 佐々木 重規	地域内の家庭にEMコンポストを設置して生ごみを1次処理し、2次処理拠点に集積して堆肥化する。できた堆肥は地域で活用する。	生ごみ堆肥の保管設備建設により、堆肥化作業を計画通り行うことができ、生ごみを焼却せず堆肥化することにより、可燃ごみの減量・CO ₂ 発生抑制、資源の再循環を図ることができた。会員数においては、目標25人に対し、17人にとどまった。	236,704	236,704 ----- 上限額	192,241
3	SDGs ボードゲームで学ぶ使い捨てない暮らし方へ	木津川市こどもエコクラブサポーターの会 代表 立花 志保	「ゲット・ザ・ポイント」という簡単なボードゲームを活用し、楽しく専門家の解説を交えながらSDGsと自分の生活、自分の生活と世界とのつながりを発見し、持続可能な資源利用（ごみ減量）について考える。	SDGsについて、ボードゲームを用いることにより、子どもたちに楽しく理解する機会を提供することができた。子どものみならず大人にも好評で、周りの人や未来を思いやって行動することが、持続可能な資源利用につながるということ、ゲームを通じ自然と行動してもらえ、参加者の満足度は高かった。	297,240	297,240 ----- 申請額	199,515
小計					833,944	851,544	709,356

2. 地域内ごみ減量等推進事業

番号	申請事業名	申請者名等	事業概要	事業実績（成果・達成度）	(円)	(円)	(円)
					補助申請額	交付決定額	交付決定額
	申請無し						
小計					0	0	0

3. 地域型ふれあい収集事業

番号	申請事業名	申請者名等	事業概要	事業実績	(円)	(円)
					補助申請額	交付決定額
	申請無し					
小計					0	0

(円)

補助申請額合計	833,944
交付決定額合計	851,544
実績報告確定額合計	709,356